

平和を実現する人たちは
幸いである。
その人たちは
神の子と呼ばれる。
マタイによる福音書5章9節

平和聖日

今年の当教会の平和聖日は8月6日。78年前、広島に原爆が投下されたことを覚え、礼拝をおさげしました。新型コロナウイルスが5類に移行され、ウクライナに侵攻して500日以上が過ぎました。一方、ロシアが戦争が終結していないことに心が痛みます。国同士の問題もあり、世界はどうなってしまうのかと本心が痛みます。一刻も早く平和的解決がなされますよう心から祈ります。

「善きをもて悪に勝つ」より

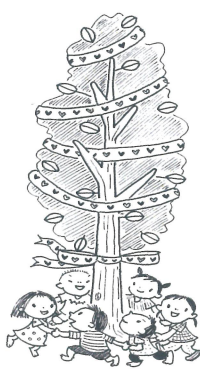
牧師 奈良 昌人

【聖句】ローマの信徒への手紙12章9〜21節
できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らさない。愛する人たちは、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。「復讐はわたしのすること、わたしが報復する」と主は言われる」と書いてあります。
「あなたの敵が飢えていたら食べさせ、渴いていたら飲ませよ。そうすれば、燃える炭火を彼の頭に積むことになる。」
悪に負けることなく、善をもつて悪に勝ちなさい。」

ローマの信徒への手紙12章18節以下

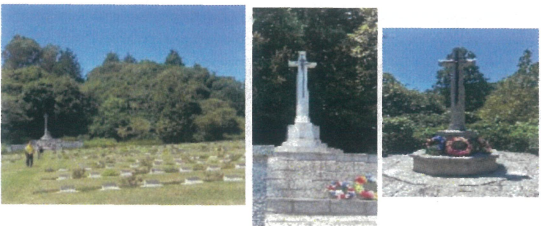
主の年2023年の平和聖日を迎えました。今日8月6日は78回目の広島原爆の日です。被爆した人たちが戦争を経験した人たちが高齢となり、戦争の惨劇の記憶が忘れ去られそうなる時、21世紀であってもロシアのウクライナへの侵攻という戦争が起きていることや日本の軍備増強も行われ、日本では再び「戦争」の二文字が大きくなるよう、危機感を持っています。戦争反対は勿論ですが、教会に集う主につながる者は、どのような姿勢でこの問題に取り組むのか、使徒パウロは「善をもつて悪に勝ちなさい」と勧めます。当時のキリスト者たちはユダヤ教徒やローマ人から迫害を受けていました。ローマ書12章には「キリスト者はこの世でいかに生きるべきか」が記されていて、その生き方を貫いていくのは「愛：主イエスが示された無償の愛」：アガペーの愛です。しかし私たちが嫌いな人を愛することはできず、アガペーの愛の実践がなんと難しいことでしょうか。そこでパウロは「希望をもつて喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。」（12：12）と勧め、「聖句」を記して具体的な生き方を示しているのです。福音宣教のために何度か死ぬほどの刑やリンチを経験したパウロが、「あなた方を迫害する者のために祝福を祈りなさい」（12：14）と言っています。「愛する者を守るためには武器が必要で、悪を放置しては国の秩序が保てず、力に抗することはやむを得ないこと」というのが世の常です。「叩かれたら叩き返す、目には目を、武力には武力を」というのが人間の歴史なのです。しかし、主イエスは「悪人に手向かつてはならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。」（マタイ5：39）、「敵を愛しなさい」（マタイ5：44）と、争いを終わらせる唯一の

ことは「敵を愛すること」だと言われました。パウロは、この主イエスの言葉をもってローマの信徒たちに、「全てを神に委ねて静かに待つこと」との手紙を送ったのです。「全てを神に委ねる者」のために祝福を祈り、喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く」とは、どんなときにも相手を愛しなさいということなのです。その人のために祈るのです。全てを神さまに委ねて。
昨日、保土ヶ谷区の英連邦戦死者墓地での「第29回英連邦戦没捕虜追悼礼拝」に初めて行ってまいりました。この追悼礼拝は、過去の日本の侵略戦争におけるアジア諸国および英連邦捕虜の方々への加害責任を覚え、戦争の記憶を継承し、非戦と平和への思いを新たにするとして1995年以降、毎年続けられているもので、私の神学校の恩師でもあり、当教会でも2度、礼拝メッセージをくださった関田寛雄先生（日本基督教団牧師、青山学院大学名誉教授2022年12月14日召天）が第1回目からほぼ毎年、礼拝でのメッセージをなさったそうです。この会を立ち上げた一人の、青山学院名誉教授の雨宮剛先生（2023年1月12日召天）が残している言葉に、「この礼拝が100年後、200年後までも続けられるためには平和を継承していかなければならない」とありました。平和を求め、平和を実現するためには「平和の継承」がなされなければならないのです。
昨日の追悼礼拝で挨拶された興津隆雄先生（実行委員会代表）は、「関田寛雄先生が毎年ご自分の足でこの場所にいられたのは、亡くなった捕虜の方々やご家族に思いを馳せ、日本の行った罪を悔い改め、それを謝罪し、和解を求められることを認めて、私たちが悔い改め、神さまからの罪の赦しを頂くためにここに毎年集まるのです。関田先生たちが残してくださった「平和と和解」という遺産を今度は私たちが次の世代に継承する番です。そのためには、私たちがこの「平和と和解」を足に履いて自分の足を使つて、それぞれが遣わされた場所に平和を運んでいく必要がある。インターネットとAIの時代ですが、インターネットとAIだけでは決して「平和と和解」は継承されて行かない。私たち一人ひとりが「自分の足を使つて、次の世代の者たちと「平和と和解」の道のりを歩き続けなければならない」と言っておられました。平和聖日を迎え、勝利にこだわるこの世にあって、キリストの救いによって新しくされた者として、キリストの勝利を身に帯び、神さまに全てを委ね、善をもつて悪に打ち勝つ歩み。この「平和と和解」を自分の足で伝える歩みへと踏み出していくこと、それが 私たちに備えられている平和聖日からの歩みなのではないでしょうか。



英連邦戦没者墓地

保土ヶ谷にある英連邦戦没者墓地は第二次世界大戦中、日本で亡くなった英連邦旧連邦軍の捕虜の方々1876名が眠っておられます。



英国及び英国の植民地である各国（オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、インド、パキスタン）の戦没捕虜たちの碑があります。

広島（ヒロシマ）

1945年（昭和20年）8月6日午前8時15分。
原子爆弾リトルボーイは、第33代アメリカ合衆国 大統領ハリー・S・トルーマンの原子爆弾投下の大統領命令を受けたB-29（エンラ・ゲイ）によって投下されました。
この1年に亡くなった方 5320人 計33万9227人

長崎（ナガサキ）

広島原爆投下から3日後の1945年8月9日午前11時2分、B-29（ボックスカー）が長崎市に原子爆弾ファットマンを投下しました。
7月末までの1年間に亡くなった方 3314人。計19万5607人

シャローム שלום

ヘブライ語で「平和」を意味する言葉で、通常のあいさつとして、現在も使われています。「シャローム」は、単に戦争がないというだけでなく、神さまと人との関係があるべき関係になっており、神さまのみ旨に従った秩序をもつて、人間がすべての被造物を用いている状態をさしています。したがって、社会的にも精神的にも満たされた安らかな状態にあることを意味しています。預言者たちは、このような平和の状態をメシアの到来と結びつけています。新約時代になり、このヘブライ語の「シャローム」が意味することと同じ意味をもって、「平和」という言葉が使われました。けれどもそれはイエスさまによる十字架のあがないからくる「平和」神さまと人間がイエスさまの十字架によって和解に導かれた結果としての「平和」です。

- 世界の言葉で平和
- 英語 Peace（ピース）
 - ギリシア語 ειρήνη（エイレーネ）
 - ロシア語 мир（ミール） 中国語 和平（ホアピン）
 - 韓国語 평화（ピョンファ）

